

第64回男子・第37回女子
全日本学生ホッケー選手権大会

第2日目

開催日時 10 月 31 日 (土) 会場 立命館ホリーズスタジアム・親里ホッケー場 天候 晴れ

【各試合の結果・詳細】

9:30～

立命館ホリーズスタジアム第1試合

立教大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 同志社大学

0	PC	8
4	シュート数	25

得点	立教→		
	同志社→58分中嶋		
戦評	立教のドリブルで試合開始。序盤から互いに攻め合い、中盤での激しいボールの奪い合いになる。次第に、立教のビハインドに対して同志社がプレスを掛け試合の主導権を握り、PCを次々と獲得するも、なかなか得点とはならない。一方28分には立教がキーパーを抜き去るもゴールの枠をとらえられない。このまま両チーム無得点で前半を終了。 後半も同志社がペースを握り攻め込むも立教がFWから守りに参加し、簡単にシュートを打たせない。しかし、58分同志社がPCを獲得。キーパーが弾いたボールを#7中嶋が押し込み、ついに先制する。時間が少ない中、立教もスルーパスが通り、チャンスを作るも同志社が守りきり、同志社が1-0で勝利となった。		
テクニカルオフィサー	一谷徹	アンパイア	杉浦利哉
ジャッジ	松下正寿・板橋秋穂		Sunny Wang

11:00~

立命館ホリーズスタジアム第2試合

早稲田大学 2 $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 聖泉大学

0	PC	3
3	シュート数	9

得点	早稲田→20分戸枝、24分梅村		
	聖泉→60分石丸		
戦評	<p>聖泉大学のセンターパスで試合開始。聖泉、早稲田両チームともに素早いパス回しから攻めを展開していく。早稲田が押し始めた前半中盤も聖泉が粘り強く守っていたが、20分#13戸枝がタッチシュートを決め2-0と試合を優位に進める。聖泉も選手交代を多用して運動量を上げていくが、得点とはならず前半を終了する。</p> <p>早稲田が敵陣にヒットを放ち後半開始。前半とは異なり聖泉が攻め立てる。プレスからサークル内に打ち込み、チャンスを作っていく。60分#13石丸がセンターリングに反応。ゴール前に飛び込み、タッチシュートを決め、1点差に詰めよる。その後も、PCを獲得するなど、怒涛の攻めを繰り広げ、早稲田ゴールを脅かすも、ホーンが鳴り試合終了。早稲田が2-1と逃げ切った。</p>		
テクニカルオフィサー	長田和雄	アンパイア	藤原真由美
ジャッジ	板橋秋穂・光田清治		Sunny Wang

12:30~

立命館ホリーズスタジアム第3試合

立命館大学 5 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 4 & - & 3 \end{pmatrix}$ 3 福井工業大学

9	PC	3
18	シュート数	6

得点	立命館→23分大橋、46分大橋、51分三浦、58分津田、61分大橋		
	福井工業→37分河津、42分河津、42分河津		
戦評	<p>福井工のセンターパスで試合開始。福井工は細かいパスをつなぎ前へ運んでいくが立命館の積極的なインターセプトによって苦しい展開となる。立命館は23分PCを獲得。#1大橋のフリックシュートが決まり先制。福井工も30分にヒットシュートを放ってポストに当たり、惜しくも得点ならず。前半を立命館が1-0で折り返す。</p> <p>後半開始早々、福井工が攻め立て38分#5河津のタッチシュートで追いつくと42分PCを獲得。またしても#5河津がタッチシュートで押し込み逆転する。立命館もすかさず45分にPCを獲得。#1大橋が再びフリックシュートを決め同点とする。さらに#11落合のロングパスを#9三浦が飛び込んで押し込み再逆転する。58分にも打ち込み反応した#8津田が技有りのタッチシュートを決め、リードを2点に広げる。61分にもPCを獲得し#1大橋がこの試合ハットトリックとなるフリックシュートで試合を決定づける。このままでは引き下がれない福井工も#5河津のハットトリックとなるタッチシュートで食い下がる。熾烈な点の取り合いもここで時間となり、立命館が5-3で福井工を下した。</p>		
テクニカルオフィサー	松下正寿	アンパイア	富山喜正
ジャッジ	一谷徹・板橋秋穂		野澤達

14:00~

立命館ホリーズスタジアム第4試合

東海学院大学 1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 1 & - & 2 \end{pmatrix}$ 3 朝日大学

2	PC	10
7	シュート数	19

得点	東海学院→43分三島		
	朝日→25分堀江、42分大崎、70分堀江		
戦評	<p>東海学院のセンターパスから試合開始。朝日は個人技を駆使したドリブルでゴールへ迫っていく。東海学院もスクープで朝日FW陣を追い返すも、朝日が25分#13堀江がスイープシュートを決め先制。両チーム球際の強さを見せ、激しい奪い合いが繰り広げられるも得点は入らず。1-0と朝日のリードで前半を終了する。</p> <p>後半も両チーム、スクープから攻めのリズムを築いていく。42分には#17大崎のタッチシュートが決まり2-0とするも、43分東海学院も#10三島のゴールで1点差に詰め寄る。早く追いつきたい東海学院は前へ前へとつないでいくが朝日がカウンターからPCを獲得。#13堀江のヒットシュートで東海学院を突き放し、3-1で朝日の勝利となった。</p>		
テクニカルオフィサー	長田和雄	アンパイア	近藤聡史
ジャッジ	松宮弘・久富隆太郎		福山秀人

9:30~

親里第1グラウンド第1試合

中京大学 2 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 武蔵大学

10	PC	0
22	シュート数	1

得点	中京→42分廣瀬、61分倉脇		
	武蔵→58分堀田		
戦評	<p>武蔵のセンターパスにより開始された。立ち上がりから中京は武蔵陣内で優位にゲームを進める。中京は2分、12分、PCを連続獲得するが得点することが出来ない。その後、中京の猛攻を続けるが武蔵が堅守を見せ得点に繋がらない。両チーム無得点のまま前半を折り返す。</p> <p>中京は後半も優位にゲームを進める。42分、PCを獲得し、#16武村がパスでDF#をかわし9廣瀬がヒットシュートを決め先制。追いつきたい武蔵はカウンターを仕掛ける。58分、武蔵#22堀田が#9神馬からパスを受け、プッシュシュートを決め同点。中京61分、#17倉脇がGKの弾いたボールをゴールに押し込み勝ち越す。両チーム激しい攻防を続けるも得点に至らず、2-1で中京が勝利する。</p>		
テクニカルオフィサー	中野典子	アンパイア	我妻順子
ジャッジ	西山雅代・上城千佳子		谷河昌子

11:00~

親里第1グラウンド第2試合

駿河台大学 3 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 慶應義塾大学

6	PC	0
20	シュート数	0

得点	駿河台→2分野澤、59分下向、62分下向		
	慶應義塾→		
戦評	<p>駿河台のセンターパスにより試合が開始された。立ち上がりから駿河台が猛攻を仕掛ける。2分、駿河台#11野澤が#10尾関の打ち込みをタッチシュートで決め先制。18分、中京PCを獲得するも得点出来ない。慶應義塾もカウンターを仕掛けるもシュートに至らない。その後、両チーム激しい攻防する。1-0の駿河台リードで前半を折り返す。</p> <p>駿河台は後半も猛攻を緩めず、45分、PCを獲得するも得点出来ない。その直後、駿河台#21松本のヒットシュートを放つがゴールポストにから嫌われる。59分、PCを獲得。#7下向が#13石井の打ち込みをタッチシュートで決める。62分、#7下向がサークル内に切り込みヒットシュートを決める。慶應義塾もカウンター攻撃を仕掛けるが得点には至らない。3-0で駿河台が勝利する。</p>		
テクニカルオフィサー	久木寿一	アンパイア	伊藤幸子
ジャッジ	西山雅代・中坪真希		稲元南

12:30~

親里第1グラウンド第3試合

東京大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 4 \\ 0 & - & 4 \end{pmatrix}$ 8 天理大学

0	PC	8
0	シュート数	32

得点	東京→		
	天理→3分落合、4分山田、12分橋本、30分落合、44分瀧澤、46分田中、61分山田、70分瀧澤		
戦評	<p>天理のセンターパスにより試合が開始された。立ち上がりから天理が猛攻を仕掛ける。3分、#6落合がGKの弾いたボールを押し込み先制。4分、天理PCを獲得。#4山田がフリックシュートを決める。12分、#12橋本が#6落合のパスを上手いタッチシュートで決める。天理が前線からプレッシャーを掛けチャンスを作る。30分、#6落合がサークル内に入り、ヒットシュートを決める。4-0で天理のリードで前半を折り返す。</p> <p>天理は後半も猛攻を緩めず、44分、#11瀧澤がパスを受けドリブル突破、プッシュシュートを決める。46分、#21田中がサークル内で#14糸原からパスを受け、プッシュシュートを決める。61分、天理PCを獲得し、#4山田がフリックシュートを決める。得点の欲しい東京は打ち込みからチャンスを作ろうとするが、天理の堅守に阻まれる。試合終了間際、天理#11瀧澤がサークルイン、ヒットシュート決め、8-0で天理が勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	荻谷和代	アンパイア	渡邊道彦
ジャッジ	府金尚輝・上城智佳子		林賢男

14:00～

親里第1グラウンド第4試合

明治大学 3 $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ & & \\ 1 & - & 2 \end{pmatrix}$ 2 東京農業大学

2	PC	12
6	シュート数	11

得点	明治→18分山本、29分松山、42分谷光		
	東京農業→49分元村、58分元村		
戦評	<p>東京農業のセンターパスにより試合が開始された。立ち上がりから両チームとも激しい攻防を繰り広げる。12分、明治がPCを獲得するが得点することが出来ない。チャンスを先に得たのは明治。18分、#11山本がサークルで#27千原からパスを受け、プッシュシュートを決め先制。29分、#16松山がサークルインし、プッシュシュートを決める。その後は一進一退の展開を続けるが両チームとも得点に結びつけることが出来ず、2-0の明治リードで前半を折り返す。後半も両チーム激しい攻防を続ける。42分、明治PCを獲得し、#10谷光がフリックシュートを決める。得点の欲しい東京農業は49分、PCを獲得。#11元村のフリックシュートを決め3-1とする。直後にも、PCを獲得するが、明治GK国友の好セーブで得点出来ない。58分、東京農業PCを獲得し、#11元村のヒットシュートを決め3-2とする。勢いに乗る東京農業は猛攻を仕掛ける。試合終了間際、東京農業PCを獲得するも得点出来ず、明治が3-2で勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	大橋守	アンパイア	西山宏明
ジャッジ	西上英雄・金府尚輝		木下英貴

9:00～

親里第2グラウンド第1試合

法政大学 3 $\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ & & \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 2 関西学院大学

2	PC	4
8	シュート数	7

得点	法政→6分吉村、49分木原、55分吉村、63分根本		
	関西学院→13分天野、42分塚口、66分森		
戦評	<p>関学のセンターパスにより、前半戦が開始。両チーム共に一進一退の激しい攻防が繰り広げられる。5分、法政大学がPCを獲得。ヒットの打ち込みを#3吉村がタッチで決め先制点をを挙げる。10分関西学院がPCを獲得。#4重川のフリックを#23天野がタッチで決め1-1となる。22分法政大学がPCを獲得、しかし関西学院のDFにより追加点を挙げる事ができない。その後は両チームともサークルまで持ちこむも堅いDFにより得点にはならず、1-1の同点で前半が終了した。</p> <p>法政大学のセンターパスにより後半戦が開始。後半5分法政大学がPCを獲得。シュートを打つもGKの好セーブにより得点を挙げられない。42分関西学院#7蛸川がドリブルでサークルまで持ち込み、キーパーがこぼしたところを#8塚口が押し込み1-2と逆転する。49分法政大#17木原が関西学院のパスをカットしドリブルで持ち込みゴール右隅に決め、2-2となる。51分法政大がPCを獲得し#3吉村がヒットシュートを打つもキーパーの好セーブに。阻まれ追加点にはならない。55分法政大がPCを獲得。DFの反則によりPSとなりこれを#3吉村が落ちて決めて3-2となる。63分法政大がサークル内でボールをつなぎ#23根本が決め4-2とする。66分関西学院がPSを獲得し、#2森が左隅に決め4-3とする。このまま試合は終了し4-3で法政大の勝利となった。</p>		
テクニカルオフィサー	荻谷和代	アンパイア	喜多正司
ジャッジ	塩井拓馬・砥石幸治		加藤拓馬

11:00～

親里第2グラウンド第2試合

駿河台大学 4 $\begin{pmatrix} 1 & -1 \\ 3 & -0 \end{pmatrix}$ 1 学習院大学

7	PC	3
10	シュート数	3

得点	駿河台→27分大橋、45分大石、59分小林、65分森		
	学習院→34分飯田		
戦評	<p>駿河台大学のセンターパスにより前半戦が開始。両者共に一進一退の激しい攻防をが繰り広げられる。前半2分#6佐野がグリーンカードで2分の退場となって1人少ない場面だったが駿河台は守りきった。その後駿河台大学はPCを取得するも学習院GK#1中島が好セーブで得点を奪わせない。両チームの堅い守備で先制点を挙げる事ができない。少しずつ駿河台のペースになってくる。駿河台がPCを取得をし、さらにPSを取得し、27分#17大橋のシュートで先制。前半33分学習院大がPCを取得し#5飯田のプッシュで同点に追いつく。両者共に同点のまま前半戦が終了。</p> <p>学習院大学のセンターパスにより後半戦が開始。後半開始早々、学習院大はチャンスを作るも得点に出来ず。40分駿河台がPCを獲得するも得点に至らず。45分#2大石がPCでスイープシュートで得点をきめ2-1とした。駿河台はPCを取得し、#5朝倉のシュートをは得点にならなかった。59分駿河台#小林のゴールで二点差とした。学習院大#11塚井のドリブルでチャンスを広げるが得点にはならない。65分駿河台#22森のゴールで4-1とし点差を広げる。残り五分で後がない学習院は32.33分と立て続けにPCを取得するが得点にはならない。このまま試合が終了。4-1で駿河台大学が勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	大橋守	アンパイア	押田幸二
ジャッジ	山本篤人・塩井拓真		堀江紀之

12:30～

親里第2グラウンド第3試合

京都大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & -4 \\ 0 & -3 \end{pmatrix}$ 7 早稲田大学

0	PC	8
1	シュート数	17

得点	京都→		
	早稲田→3分宮崎、13分宮口、27分宮崎、31分倉田、43分関、61分鶴飼、70分宮崎		
戦評	<p>早稲田大学のセンターパスで前半戦が開始。立ち上がりすぐ、早稲田がPCを獲得。これを#14岸本のアシストから#3宮崎が決め、早稲田が先制。さらに5分にも早稲田がPCを獲得。しかしこれは得点に繋がらない。その後も早稲田が試合をコントロールし、早稲田ペースで試合が続く。すると13分早稲田の#5宮口が決め、2-0とする。京大もなんとか盛り返そうとするも早稲田の巧みパスワークの前にチャンスを作ることができない。すると27分、早稲田は#3宮崎がヒットシュートを決め、追加点をあげる。さらに31分#6倉田のシュートが決まって4-0となった。35分に京大がボールを持ち込んでシュートを放つも決まらず早稲田がリードで前半が終了した。</p> <p>京大のセンターパスで後半戦が開始。43分、早稲田は#4関がゴール前の混戦から押し込んで5-0とする。さらに45分には#3宮崎がドリブルでサークル内に持ち込んでシュートを放つも、ポストに嫌われる。なんとか点を返したい京大も#24叶を中心に攻め上がろうとするも、早稲田のディフェンスに阻まれる。すると54分、早稲田がPCを獲得、このプレーからカウンターチャンスが生まれ、京大が攻めるも得点には至らない。その後も早稲田が右サイドへの早い展開から京大を攻めたてる。61分、早稲田がPCを獲得、これを#14岸本の止めで、#3宮崎がリバースヒットを決め、6-0とする。さらに65分、早稲田がPCを獲得、これをしっかり決め、7-0で早稲田が勝利をおさめた。</p>		
テクニカルオフィサー	中野典子	アンパイア	成田健一
ジャッジ	山本篤人・砥石幸治		大熊穂高

14:00~

親里第2グラウンド第4試合

山梨学院大学 1 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 聖泉大学

9	PC	2
16	シュート数	5

得点	山梨学院→34分林		
	聖泉→		
戦評	<p>聖泉大学のセンターパスで前半戦が開始。前半早々、聖泉がPCを取得したが得点には至らず。両者共に一進一退の激しい攻防が繰り広げられる。山梨学院のPCはヒットシュートを打つも、惜しくも外れる。互いに巧みなドリブルとパスワークから相手陣内へ攻め込むも、両者先制点を挙げる事ができない。33分山梨学院はPCを取得し、再びPCを取得するが得点にはならない。前半44分山梨学院#16林がこぼれ球を押し込み先制を挙げる。前半最後山梨学院PCを取得するが得点には至らず1-0で山梨学院リードのまま前半戦を折り返した。</p> <p>山梨学院大学のセンターパスにより後半戦が始まった。後半早々、山梨学院がPCを取得し、再びPCを取得したがヒットシュートを聖泉大学の#1西田が好セーブにより得点を挙げれない。山梨学院#6山崎の巧みなドリブルで相手陣地を攻める。後半45分過ぎに山梨学院はPCを取得するが得点できない。後半55分、一進一退の激しい攻防が繰り広げられている。後半60分、山梨学院はPCを取得するが惜しくも外れた。このまま試合は終了し、1-0で山梨学院大学が勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	久木寿一		アンパイア
ジャッジ	田村一・中坪真希		
			細川祐司 小原直也